

3 リニア中央新幹線の大阪までの全線同時開業，関西国際空港へのアクセス改善及び「京都駅ルート」の実現

(国土交通省)

我が国にとって最適なルートを比較検討していただくとともに，国家政策として整備を推進し，その効果を最大限に発揮させるため，次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 「リニア中央新幹線」の東京・大阪間の同時開業のための国家プロジェクトとしての整備及び国の財政支援
- (2) 関西国際空港へのリニア延伸によるアクセス改善及び「京都駅ルート」の実現（首都圏～京都～関西国際空港を75分で行なぐ）



「リニアを、京都へ。」

～東京一極集中の打破，国土の均衡ある発展を目指して～



全国幹線旅客純流動調査(2010)を基に推計	京都駅ルート	現行ルート
首都圏からの乗客数予測	1,200 万人/年	300 万人/年
首都圏からの利用者による経済波及効果	810 億円/年	420 億円/年

京都駅は、既存の鉄道ネットワーク(東海道本線、山陰本線、湖西線、北陸本線、近鉄、市営地下鉄)と結節しており、広いエリアの方々がリニア効果(時間短縮)を享受できる。

- ① 現行ルートは、42 年前に超電導リニアの技術の導入を前提としない、東海道新幹線の老朽化や事故に備えた「第二東海道新幹線」として主要な経過地を決定
- ② 全国新幹線鉄道整備法では、需要の動向や経済効果の調査結果に基づいてルートを決定すると明記されており、改めて、リニアを前提とした、ルートの検証が必要

大阪までの全線同時開業

- ① 国土の調和ある発展を目指し、関西・西日本の経済の地盤沈下を招かない。

関西国際空港へのアクセス改善

- ① リニアを延伸すれば、国内唯一の完全 24 時間空港と首都圏がつながる。
- ② 我が国の産業，学問，文化の振興や「観光立国・日本」の大きな推進力となる。

「京都駅ルート」の実現

- ① 首都圏～京都～関西国際空港を 75 分で行く。
- ② 21 世紀の日本の発展にとって、ものづくり，学術，文化，宗教，観光振興などの要素がきわめて重要
- ③ 京都は、現役の御所，全国的企業，宗教の本山，家元の所在地でもある。政治経済の中心である東京とともに、これからも京都が日本の文化首都としての使命を果たすことは日本の未来のため。